

10 . 牧野の有効利用や活性化に向けた牧野組合の意見

牧野の有効利用や活性化などに関する自由記述を求めた結果、次のような意見が挙げられた。

牧野の有効利用・活性化等に関する意見

牧野コード	牧場名	自由回答事項	自由回答・記述内容
4	大塩牧場	現状と今後の不安：維持管理の困難さ	国営事業後、ボーリングによる水資源がありましたが、その後、修理多発等により自宅より水を運搬して放牧しています。事業によりボーリングするには資金がない状態であり、今後の維持管理、放牧等に心配であります。何らかの形で放牧を維持しないと原野が荒れ放題になる事も考えられます。今後は原野全体的な団地づくり、そして、国、県へ資金面での援助も働きかけ、この財産を後世へ受け継がせたいと思います。
5	農事法人一区牧野組合	現状：助成金の利用	わが組合においては飼育頭数も横ばいであり、草地等の管理も助成金・補助金等を頂き現状維持が出来て大変助かっているところです。組合員（有畜農家）も年間約30日くらいの苦役があるため大変ですけど、牧野、草地等を維持していくためには、ある程度の助成金を頂かなければ無理だと思います。まわりの今荒れている草地（雑草地）を一日も早く良い草原に戻すことが大事であり、国県町は取り組まなければならないと思います。
7	町古閑牧野組合	今後：牧野の観光利用	牧野を観光利用に結び付け、観光と商業が一体化して地域活性化に役立てると共に、牧野にも一部還元できるようなシステムが出来ないかと考えています。また、野草地の有効利用も出来れば、景観維持、草地維持にも貢献できると考えています。もっと牛を草で養う人が増えてくれればと思っています。
9	泉牧野組合	今後の不安：維持管理の困難さ	有効利用や活性化どころか、高齢化と後継者不足で数年後には維持・管理すら出来なくなることが心配である。
14	中荻の草牧野組合	今後：活動継続	阿蘇の自然を保つため、自分たちでできるだけ現在の活動を継続していきたいと思っています。
30	狩尾牧野組合	現状：維持管理の困難さ	有畜農家が減って草地の管理がだんだんと難しくなってきました。また、草地が古くなり野草化して、改良するには資金不足であるのが現状です。輪地切りについては、全体に防火帯が出来ており問題はない様です。
31	農事組合法人湯浦牧場	要望：補助事業他	規制のない補助事業、また資金の提供。
34	山田西部牧野組合	要望：畜産価格の安定化	畜産価格の安定を望みます。

38	二三五区牧野組合	現状：大型機械の効果	私達が持っている機械が小型で、天候が4日続かないと乾草が取れないので、毎年、完全には牧草が取れず、機械導入も出来ない状態でした。平成15年度より、作業者4割、施肥管理組合が6割という約束で、酪農家の大型機械で採草作業を全て依頼して、ロールにして貰い、高品質の牧草が収納出来ました。
40	跡ヶ瀬牧野組合	要望：観光利用、設備など。	ミルクロード沿いの牧野の放牧利用（観光）。道路沿い牧柵からワイヤーガードレール設置。放牧牛の道路への進入防止。
157	狩尾南山原野管理組合	今後：牧野の貸し出し	放牧もしない原野で、現在は少し草を切るだけで利なし。何か良い利用法があれば貸してもよいと思う。
159	本塚七部落組合	今後：観光利用	周回道路の整備を急ぎ、多目的なレクリエーション施設等の整備、また、散歩やジョギングコースにもってこいの立地条件を利用する価値はあると思います。
46	下ノ道採草組合	要望：畜産価格の安定、阿蘇牛のPR、中山間直接払い制度の継続、未利用野草地の整備助成、その貸し出しの仲介、草地更新助成、 今後：ボランティア制度、原野の多面的活用	<p>仔牛価格の安定（最低現状価格を望む）。</p> <p>世界遺産たる阿蘇の大草原で育つ阿蘇牛のPRが全く不足している。そのことが仔牛価格が上がらない原因の一つである。安心・安全のブランド肉として行政は日本中に売り出す努力を望む（大分県椎茸のごとく）。</p> <p>H16年度以降も中山間直接支払い制度の継続を強く望みます。</p> <p>未利用野草地を放牧地として利用したい。そのためには牧柵が老朽化している。整備に対する助成を望みます。</p> <p>前の について、組合内では余っている。組合員外にも貸出したいと考えている。行政が貸し手、借り手の仲介役としてやって欲しい。また、貸し付け条件等のマニュアルも作って参考として示してはどうか（貸し料・期間・インフラ設備・看視人等について）。</p> <p>今後（ボランティア）制度は充分に必要と思う。その場合、輪地切り、野焼きに限らず広範囲の作業を進めて欲しい。</p> <p>草地更新の必要があります。現在、中山間交付金、大根畑貸貸を資金として進めています。何らかの少しの助成でもあればと思います。</p> <p>私の牧野はH16年度より入会権整備を実施します。権利調整と共に原野の多面的活用を進めていく方針です。</p> <p>地域資源たる阿蘇の大草原を活かした畜産振興が何故進まないのか。県町村の行政体とJA阿蘇は一体になって取り組んで下さい。</p>

48	矢ヶ部・小原・薊原牧野組合	現状：維持管理活動の休止	私達の牧野では、野焼き、放牧をこの5年にやめてしまいました。急傾斜地で山林等が入り組んでいるため荒れていっています。高齢化で危険な為、共同作業もできなくなっています。牧野の有効利用は、牛の価格が安定し生活できる事が最大の条件です。野焼き等は危険をとまなう為、ボランティアはプロ的な人でないと無理だと思います。有効利用している所には、お金を出すべきです。
55	間瀬野牧野組合	今後：観光利用	放牧牛を中心とした観光農業的な考えで管理運営を行う。それによって雇用や地産地消が増えて村の活性化にもなり、消費者との交流で本来の牧場のあり方（みんなの意識）が分かっていくと思う。
59	山鳥川牧野組合	今後：環境整備	管理しやすい環境を整え日本一の大草原にする。
62	樋の口牧野組合	今後の不安	畜産に重点を置いた原野の利用から、新たな活用策を見出せないでおり、将来の有効な活用策が必要と考えます。このまま続けば原野は天然林に変わるかも……
64	小田財産組合	今後：温泉の利用	当地区は温泉の恩恵を受けており、自然と温泉、人と温泉を組み合わせた地域組合を目指したい。温泉宿泊では、県内外の人（外国の人も含む）又、近く特別老人ホームの施設等もあり、入所者はもちろん、その家族の方、介護さん、これから介護の仕事につきたいと思っている若い人達、又、宿泊等に従事する県内他県から来て働く人達が、自然っていいなとしみじみ思われる自然散策道（広場、森林野に咲く花、木に成る実等々の場所）。人間が人らしく、自然が自然らしく、心と心のふれあえる当地区組合をめざしたい。それが小田温泉財産組合です。
67	中湯田牧野組合	今後：新しい発想の必要性	これまで牧野は、農家経営の一部分に位置付けられていたが、現在の効率主義の波は、スローライフ的な牧畜は多面的機能はあっても、外国の物を優先する改化政策のなかにおいては、持続は大変きびしい。しかし、牧野を支える地権者の農家経営の中にしっかりした位置付けが確立されることにより大きく変わってくるのではないかと思う。・・・牧畜だけでなく、まったく新しい発想で・・・！！逆転の発想をお願いします！！
164	小葉瀬牧野組合	今後：教育の場としての牧野の利用	町立黒川小学校が建立されている事もあり、牧野の活用と言うよりも教育関係になると思うが、できれば家畜と児童の教育の場、子供と動物のふれあいを考えたい。牧野組合と学校の教育の場が一体となるような環境作り、又、当地は筑後川の上流に位置し水の大切さ水の保全等もあり、農と生活環境、水の保全、植林等を含めた学習の場（野外活動）の一環として、当組合の活性化ができたと思う。教育と牧野と題した活動を求む要望あり。子供達のために自然と天体を観測する器具類を整備してもらおう事は出来ないだろうか（天体観測所）宇宙空間がのぞける物。学校教育プラス牧野の有効利用ができればと思う。

68	タケハゲ牧野組合	現状と今後の不安：維持管理の困難さ	牛の頭数の減少や、有畜農家の減少で牛飼いはやりにくくなっているが、中山間地の助成等をありがたく思っている。草地は余りぎみで、原野が荒れて危険な野焼き作業にボランティアを受け入れる人的（時間）余裕は無い（地元の人もヤケドしたりする）。ダニ駆除を数十年続けているので、畜体に最高でも10匹位のダニしかつかない。優良な草地に牛の数が少なすぎる。夏季の放牧受け入れは可能ではないか。採草を始めれば周年放牧も可能だと思う。現在は、旅館業の人も協力して観光地としての体系が維持出来ているが、将来は心配。牛が草を喰って草地を守る、それが一番だと思う。ヤギ、ウマ、ヒツジ、じゃなく。
72	上田第一地区牧野組合	今後：牧野の多目的活用	多目的牧野として活用したい（例えば風力発電等） 観光（ウォーキング等）
170	産山区造林組合	現状：野焼きの危険性	以前は放牧牛が多かったので野焼きもやりやすかったが、現在放牧頭数が少なく、よく焼けて危険を感じる。
90	荻岳牧野組合	現状：維持管理の困難さ	私の所は広い原野に1戸で放牧しています。このままでは荒れ野になってしまう。頭数を増やすにも無理がある。有畜農家に放牧させたいのだが、集落の人々の反対も多数。飲水施設が少ない。外柵が古くなって修理が困難になりつつある。
94	柳谷牧野組合	現状	柳谷牧野組合では、有畜農家が1戸しかなく、宮崎県椎葉村、高森町草部地区より預託を受け入れている。輪地切りは傾斜のゆるい所は重機で表土を削っている。急傾斜地は刈払機を利用している。
98	目細牧野組合	要望：牧柵整備補助	牧柵、牧道整備の補助。
101	農事組合法人玉目牧野組合	今後：野菜と牧野の輪作	有畜農家が野菜農家になり、牧野利用農家が減り、今後は野菜と牧野の輪作体系を取りたい。
106	冬野牧野組合	要望：ボランティア	ボランティアについて詳しく知りたい。
107	中原牧野組合	今後：行政と組合の関係	牧野内の管理について、行政（入会）と組合の関係をはっきりさせる。
108	矢津田牧野組合	要望：草地更新	草地更新。
110	祭場牧野組合	要望：草地更新	草地更新。
113	洗川牧野組合	要望：畜産価格の安定	牛の値段を安定してほしい。
118	神原牧野組合	要望：補助事業、畜産価格の安定	補助事業の強化と牛価格の安定。
119	戸狩牧野組合	要望：機械設備	機械がほしい。（飼料調製）
123	小倉原牧野組合	要望：補助事業	補助事業の強化。（牧柵、パドック）
124	西丁牧野組合	要望：雑草除去	牧野の雑草除去をお願いしたい。（平坦地）

129	中郷・竹崎 原野組合	現状：維持管理 の困難さ、要 望：畜産振興	現在、牧野にチカラシバが年々多く発生して困っていますので、なにかいい方法はないでしょうか？ 更新すれば多額の費用がかかり、有畜農家の減少で無理な状態です。 阿蘇の自然の中で育つ赤牛は、畜産農家はもちろん、都会の人々等も心をなごませてくれ、次世代に残していかなければならないと思いますので、行政でも畜産の振興に、今以上に力を入れて下さいますようお願い申し上げます。
135	池の窪牧野 組合	要望：牧野利用	村内牧野の利用ができるように、行政で取り組んでほしい。
153	瀬田立野農 業協同組合	今後：若者の育 成	農業、畜産に関心を持つ若者の育成。